

YASUDA社員のこれが好き!

安田印刷で働く社員の「好きなもの」をジャンルは問わず約130文字で紹介してもらおうコーナー! あなたと同じ【好き】をもつYASUDA社員が見つかるかも…?

好きなものは
我が家のレオくん!



N.Kさん(営業部)

我が家に来て9年のアメリカンカールの猫、茶トラのレオくんです! 休日の朝はいつも7時になると枕元にきて左前足で私のおデコをチョンチョン、ニャーン早く起きて〜と言っているような仕草をします。可愛くて見ても飽きません。心が癒やされ、少しでも長生きしてほしいと願っています。

好きなものは
懐かしの中華そば!



A.Tさん(生産部)

名東区八前にあった「せきや」の中華そばは透き通った出汁の効いた醤油スープに丁寧に刻まれた葱、なんといっても特製厚切チャーシューが3枚も入っていました。店主が高齢になられて閉店してしまいましたが時々思い出しては食べたくなり多治見の「大石屋」恵那の「あきん亭」へ中華そばを食べに行っています♪

編集のつぶやき

懐かしさを感じて... ~名古屋市営バス~

私は通勤に市バスを利用しています。今年は交通局90周年事業との事で、古くなった車両は順次新型に代わって来ており、乗っていても快適です。

そんな折、下車駅で懐かしいバスに遭遇。三越栄様がオリエンタル中村で市電も残っていた頃?だと思います。ツートンカラーのレトロ感、思わず写真を撮ってしまいました。

交通局で調べてみましたら90周年事業のイベント企画だそうです。遊び心があって好感が持てました。(生産部・T)



★今月の表紙写真★

【特色インク】

印刷においてプロセスカラーでは再現できない色を表現するために、あらかじめ調査されたインクのこと。

お客様の思いを伝えることが**YASUDA**の使命です。

2020年6月末日 発行
 発行者: 安田智雄
 発行所:
 〒451-0043
 名古屋市西区新道2丁目13番10号
 安田印刷工業株式会社
 TEL.052-533-0088



facebookもぜひ、ご覧ください。



【安田印刷で印刷できるもの】

名刺/チラシ/ポスター/冊子/カタログ/リーフレット/POP UP/のぼり/懸垂幕/横断幕/パッケージ etc.

安田印刷工業株式会社

MEI 7

= July =

vol.2



1-2...【YASUDA HOT NEWS】

“アフターコロナ”を考える / 営業部と制作部のフロー一体化

3...【印刷屋さんのちやうとコアな話】ねずみのケツを押す!?

4...【YASUDAの仲間紹介】N.Kさん & A.Tさん

...yasudagram pick up!

5...編集のつぶやき / 表紙写真解説

安田印刷公式Instagramでご紹介したものをピックアップしてご紹介!

yasudagram pick up!



貼って剥がせるシール!
我が社では予定表の共有のツールの一つとして使用しています。



名刺もレーザー加工を加えて個性を出す時代です! お話のネタにもなるかも…??



テーマは【幅広い世代へ届く広告】! 車屋さんへ手描きPOPの提案をしました!



@yasuda_print

Instagram毎週更新中!

ぜひフォローをよろしくお願ひします!

YASUDA HOT NEWS!!

“アフターコロナ”を考える

今年に入って起こった出来事といえば…みなさんもうお分かりですね？
そう、「新型コロナウイルス」です。

一時は愛知県にも緊急事態宣言が出され油断のできない状況となり、「在宅勤務」「リモートワーク」「休業日」「営業時間短縮」などのワードを耳にすることが増えました。

7月1日現在、コロナウイルス流行の「第2波」が来ると世間では言われていますが、数ヶ月前に比べると少なからず経済活動や生活面での規制が緩和されている状態です。ですが、今後「新型コロナウイルス」流行前と同じ状態へ戻ることはほぼ不可能と予想されています。ビジネススタイルもそれは同じで、お客様へはソーシャルディスタンスを促す「足跡シール」やテイクアウトやアルコール消毒をアピールするためののぼりの提案などを行い、社内では毎朝始業前に全社員が検温を行ったり、3蜜を避けるために部署ごとに「休業日」を設けるなど対策を行ってきた弊社でも「※アフターコロナ対策」を考えてみました。今回はその一部をご紹介します。

○営業スタイル

簡易的な打ち合わせや校正は、zoomやテレビ電話・チャットツールの活用、メールでのやり取りを増やし、お客様と直接対面してやり取りをしなくても仕事がすすむ状態を増やしていく予定です。

もちろん、お客様と直接お会いする際は、しっかりと感染対策を行います。

また、直接来店しなくてもネットから気軽にご注文ができ、最短納品も可能となるシステム作りも検討している最中です。



○商品のご提案

お客様のニーズに合わせて新しい商品を展開していく」予定です。

現在では、接客の際に使用されることが多い「フェイスシールド」や、おうち時間を充実させるため、読書が捗る「リーディングトラッカー」が弊社デザインから製造まで一括して行えるよう開発中です。

また、お風呂で読み物ができたり、屋外で雨に当たっても破れない、水に強い用紙の採用などを検討しています。

※ アフターコロナ

世界の社会・経済に大きな変動を生じさせた新型コロナウイルス感染症流行の前後で世界を区分し、以降の「社会的・経済的な変化を経験した世界における、新しいビジネスや社会のあり方を指す」概念である。同じ趣旨で「ポストコロナ」という語句も使用されている。
(wikipediaより引用)

営業部と制作部のフロア一体化



2月以降に弊社へ来ていただいた方はお分かりかと思いますが、2月中旬より4階にあった制作部のフロアを1階へ移動しました。

目的としては、営業部と制作部間でのやり取りを今まで以上に密にするため・タイムロスなるべく減らし仕事を進めるためです。

フロア一体化から5ヶ月ほど経ちましたが、現在感じられるメリットとしては、営業と制作で顔を合わせて直接やり取りする場面が増え、誤解や語弊を招いてしまう場面が減ったり、仕事の説明や相談がスムーズにできるようになり、風通しが以前よりも良くなったと感じています。

毎朝の朝礼も一緒に行えるため、全体の仕事量や個々での仕事の状況・スケジュールも把握しやすくなりました。

仕事をしやすい環境を今後も工夫して作っていきたくと考えています。

印刷屋さんの ちょっと“コアな話”

〔ねずみのケツを押す!?!〕

印刷機に刷版^{※1}を取付け、印刷を開始するまでは用紙の位置に対しや、多色刷り^{※2}であれば見当を合わせるため、天地方向、左右の調整を行います。

現在の自動版掛機ではその調整作業は見かけませんが、旧型印刷機では1台の印刷機を2人で操作しており機長と副機長は様々な作業を声を掛け合いながら行っていました。

2色刷、色は黒とグレー（ねずみ色）で版掛け^{※3}の後に機長は叫んでいます。

「ねずみのケツを押してくれ!!」

旧型機ではスパナを持って機上に上り版の天地を緩めたり締めたりして見当を合わせていました。

当時の機長と「“ねずみのケツを押す”って何だか可笑しいですね」と笑い合ったものです。
(生産部・T)



※1 刷版(さっぱん)

オフセット印刷で印刷機につけて使うアルミ製の板で、ハンコのような役割。一度の印刷でCMYK4枚の板が必要。

※2 多色刷り

複数の色を重ねて印刷すること。2色でも4色でも1色以外は全て多色刷り。

※3 版掛け

版のセット、調整をすること。(自動ではない場合)